

2020年9月28日

各位

「チョイソコかかみがはら」エリアスポンサーへの参画について ～各務原市における乗り合い送迎サービスの実証実験～

株式会社十六銀行（頭取 村瀬幸雄、以下「当行」といいます。）は、各務原市における乗り合い送迎サービスの実証実験である「チョイソコかかみがはら」にエリアスポンサーとして参画いたしますので、お知らせします。

記

1. 「チョイソコかかみがはら」とは

各務原市における新交通システムとして、アイシン精機株式会社が有する「チョイソコ」のシステムを活用することで、ダイヤを設定せず、運行時間内であればいつでも予約利用ができる体制を整備するものです。

「チョイソコ」は、高齢化が進む中で「買い物難民」や自力での通院が困難である「医療難民」の増加といった社会課題を、CASE（※1）や MaaS（※2）を活用して解決するために全国各地で導入が進んでいます。

（※1）CASE とは、Connected（コネクティッド）、Autonomous（自動運転）、Shared&Services（シェアリングとサービス）、Electric（電動化）の頭文字をとった造語です。

（※2）MaaS とは、「Mobility as a Service」の略語であり、「デジタル技術を活用してあらゆる人々の移動・輸送手段をシームレスに結び付け、一つのサービスとして提供する」ことを意味します。

2. 当行の参画について

地域の課題解決に向けて、当行はエリアスポンサーとなり、当行東各務原支店に停留所を設置して「チョイソコかかみがはら」に協賛いたします。

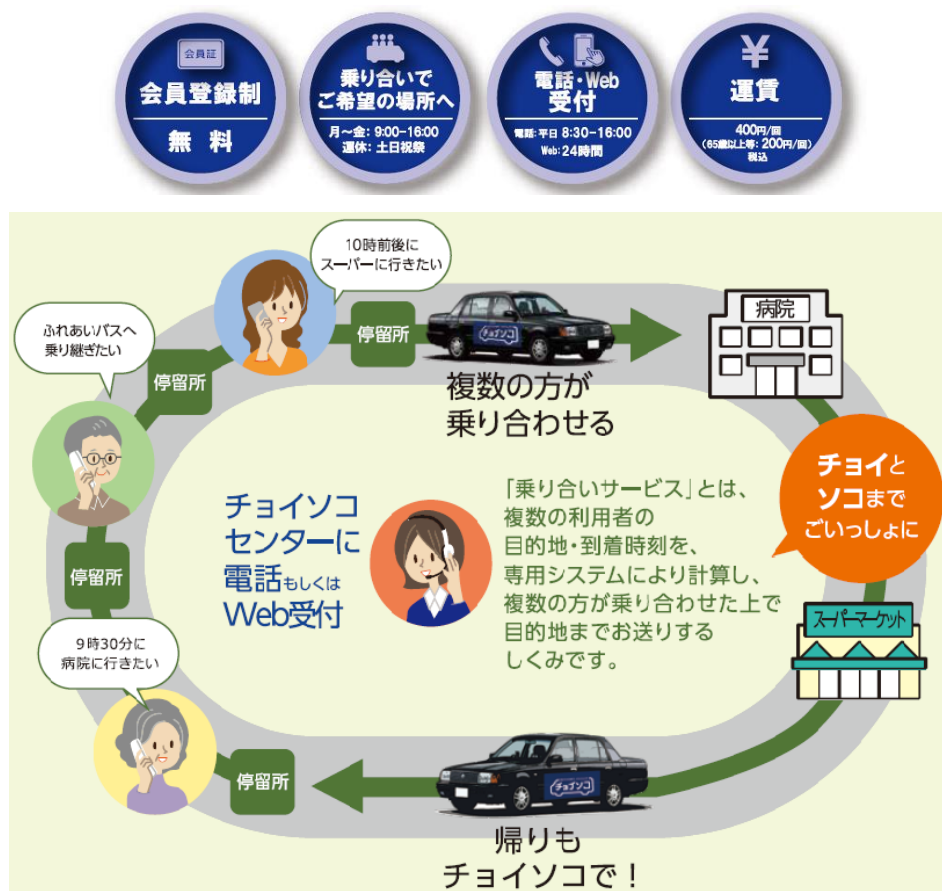
当行は、2019年5月に愛知営業本部内に「MaaS 戦略チーム」を立ち上げ、ソフトバンク株式会社とトヨタ自動車株式会社の共同出資会社である MONET Technologies 株式会社（モネ・テクノロジーズ）が設立した「MONET コンソーシアム」に地方銀行として初めて参画するなど、CASE や MaaS に対する取組みを強化しています。

当行は、地域のみなさまと連携して、CASE や MaaS を通じた新たな価値創造に積極的に取り組み、持続可能な地域社会作りに貢献してまいります。

【「チョイソコかかみがはら」について】

- ◆ 「チョイソコかかみがはら」の概要
 - ・ 各務原市鵜沼南エリア内を運行する乗合型タクシーの導入実証実験です。
 - ・ ダイヤはなく、運行時間内であればいつでも利用可能です。
 - ・ 乗降場所は、あらかじめ決められた停留所間で予約が必要です。
 - ・ 2020年10月より運行開始予定です。

- ◆ 「チョイソコかかみがはら」のサービスの仕組み



- ◆ 「チョイソコかかみがはら」の特徴
 - ・ 会員向けの定期的なお知らせ「チョイソコ通信」を発行し、おでかけのきっかけづくりに取り組みます。
 - ・ 地域と一体となった持続可能な公共交通を目指し、スポンサー制度を設けます。
 - ・ 事業に協賛いただけるスポンサー（医療施設、商業施設等）を募集し、スポンサーの施設に停留所を設置します。これにより、スポンサーが増えるほど目的地が増えていきます。

以上